

研究機関名：誠愛リハビリテーション病院

研究課題名 脳卒中片麻痺患者と健常高齢者の立位・座位関連動作の比較
研究期間 西暦 2013年10月～ 2015年9月
対象 対象はインフォームドコンセントを行った健常高齢者40名と脳卒中片麻痺患者40名。 なお、健常高齢者の選出条件は、①65歳以上であること、②脳卒中の既往や、動作に影響を及ぼす整形外科的疾患を有していないこと、③日常生活に介助を要さず、自立した生活を行えている者とする。
意義・目的 今まで、脳卒中患者の動作分析として、起立動作・ステップ動作・歩き始め動作などについて分析を行ってきた。その中で、各動作の評価指標を抽出してきたが、患者の動作を分析する上で、加齢的变化を加味して、問題点の分析を行う必要がある。よって、今回、今まで研究を進めてきた下記動作について、脳卒中片麻痺患者だけでなく、健常高齢者の分析も行うことで、患者が安全で自立した動作を行うために必要な因子を抽出することが本研究の目的である。
方法 身体所定の位置に反射マーカを添付し、①歩き始め動作、②起立動作、③歩行動作、④座位から歩き始める動作、⑤殿部リーチ動作、⑥上肢リーチ動作、⑦振り返り動作を3次元動作解析装置・床反力計にて計測する。また、バランス評価（Berg Balance Scale）や10m歩行時間、握力などの身体能力を示す評価も行う。計測時間は夕方17時15分から30分ほどとし、各動作を2回程度練習した後に計測を各1回行う。
本研究の問い合わせ窓口 誠愛リハビリテーション病院 リハビリテーション部 理学療法士 長田 悠路 〒816-0956 福岡県大野城市南大和2丁目7-2 TEL 092-595-1151 FAX 092-595-1199 E-mail kenkyu@seiai-riha.com